

高崎市教育委員会定例会会議録	
開 会 年 月 日	令和2年9月24日（木） 午後2時
閉 会 年 月 日	令和2年9月24日（木） 午後2時28分
会 議 の 場 所	教育委員会室
教 育 長 飯 野 眞 幸 委 員 清 水 久 美 委 員 重 田 誠 教育長職務代理者 竹 内 一 普 委 員 塚 田 展 子	
事 務 局（説明員）	
教育部長 小 見 幸 雄 教育総務課長 真 藤 要一郎 文化財保護課長 角 田 真 也 中央図書館次長 齊 藤 寛 方 学校教育課長 橋 爪 幸 雄 教育センター所長 永 井 智 幸 学校教育担当部長 佐 藤 明 彦 社会教育課長 土 谷 真由美 中央公民館長 藍 美 香 教職員課長 大 澤 克 教 健康教育課長 山 崎 幹 夫 高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子 書記 教育総務課 宮 澤 信 宏	

9月24日	会 議 に 附 し た 事 件
議案第22号	令和2年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について
議案第23号	高崎市文化財保護賞候補者の推せんについて
議案第24号	令和2年度末県費負担教職員人事異動方針について
報告連絡事項	令和2年度高崎市公民館研究集会の開催について

高崎市教育委員会 9 月定例会会議録

教育長（飯野眞幸）

それでは、これより高崎市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、清水委員と塚田委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第 22 号「令和 2 年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（真藤 教育総務課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質疑ございますでしょうか。

委員（重田誠）

高崎市の点検評価は、外部の点検評価委員として唐澤先生が入っていますが、全体的に何人かですのでしょうか。それとも外部評価委員は 1 人だけなのでしょうか。

教育総務課長（真藤要一郎）

基本的には各事業につきまして、目標値を設定して、少し客観性を持たせた形で、セルフチェックになりますが自己評価をしています。学識経験者にご意見を頂戴するのは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によって、学識経験者の意見を踏まえる事とされていますので、唐澤先生からご意見を頂戴しているところでございます。

委員（重田誠）

私が県の点検評価委員をしていた時に、県の教育委員会の点検評価を作る際には、評価委員を 4 人ぐらい集めていましたが、市ではそのような形での評価はしていないのでしょうか。

教育総務課長（真藤要一郎）

高崎市では、そのような形での評価はしていません。

委員（重田誠）

もうひとつ伺いますが、県の教育委員会の点検評価と、市の点検評価では少し違うところや一致するところがありますが、県の全体的な方針と高崎市の方針との関係性や独自性にはどのような違いがあるのでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

基本的には県とリンクはしていません。参考として、各事業に反映する部分はありませんが、評価の中に反映している部分はございません。

委員（重田誠）

ありがとうございました。

教育長（飯野眞幸）

その他にいかがでしょうか。

教育長職務代理者（竹内一普）

拝見させていただきまして、結果を出されていると感じています。これはあくまでも令和元年度の報告だと思しますので、令和2年度の目標数値というのは、コロナの影響でだいぶ変動が出てくると思います。その辺りの議論はされているのでしょうか。

教育総務課長（真藤要一郎）

実績を見通しますと、定量的な評価は下がっていくと思います。特に利用者数などがそうかと思いますが、目標値を下げるなどの一律的な調整はしていません。年度が終わった段階で、評価検証をする際に、確かにコロナの所以であったか、そうでなかったかが出て来ると思しますので、その際に目標設定が果たしてどうだったかを改めて検証させていただく事になると思います。

教育長職務代理者（竹内一普）

コロナ禍という事で、全ての事業に関わって大変な作業になると思いますが、しっかりとフォローいただければと思います。よろしく願いいたします。

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議なしと認め、議案第22号は原案のとおり決しました。

教育長（飯野眞幸）

続きまして、議案第23号「高崎市文化財保護賞候補者の推せんについて」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（角田 文化財保護課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質問ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議なしと認め、議案第23号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第24号「令和2年度末県費負担教職員人事異動方針について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（大澤 教職員課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質疑ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議なしと認め、議案第24号は原案のとおり決しました。

続きまして、報告連絡事項に移ります。「令和2年度高崎市公民館研究集会の開催について」の説明をお願いします。

（藍 中央公民館長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質問ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

以上で、予定していた議事の審査、報告事項は終了いたしました。事務局からその他、報告等ありますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

事務局からはないようですが、この際、委員の皆様から、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

委員（清水久美）

人事異動とは少し違うかもしれませんが、学校は校長先生によって良くも悪くもなるということを、PTAを通してとても感じました。管理職のみならず、教師の些細な一言で、子どもの人生を左右してしまうこともよく耳にする事なので、この人事異動によって、より良い校内体制を作ることはもちろんですが、異動された学校で、特に管理職の先生にはご自身の身を引き締めつつ、子どもたちのためにより良い学校にしていきたいと切に願います。

教職員課長（大澤克教）

只今、清水委員さんよりいただきました言葉を、私自身も心に留めて、これからの人事の構想を練っていきたいと思います。また、先生方には、色々な機会を通して、「初心を忘れない」ということと、教育長がいつもおっしゃっている「脚下照顧」を繰り返して伝えていきたいと思います。

教育長（飯野眞幸）

今のような話も、今度、校園長会議で直接言ってもらえるといいですね。委員さんからもお願いします。

委員（清水久美）

もう少しまとめて言えるよう練ってまいります。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それでは、本日、竹内教育長職務代理者が教育委員として任期中の最後の定例会となりますので、竹内教育長職務代理者より一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

教育長職務代理者（竹内一普）

皆さん改めまして、こんにちは。今、ご紹介いただきましたように、今日で定例会最終日となりました。平成28年10月1日からの任期という事で、あっという間の4年間でした。ちょうどその時は、教育委員会制度が変わったところでしたし、また、教育委員会の管轄も今よりもかなり広がったと思います。そのような時に、教育行政に携わることが出来まして、4年間務まるかどうか自信もありませんでしたが、教育長を中心とした皆様に支えていただきながら、色々な事を教えていただきました。職務を全う出来たかどうかを自己採点すると、まだまだ及ばないとは思いますが、それ以上に、普段、

皆様が本当に熱心に務められている姿を見て、もっともっと教育現場に皆様や校長先生のご努力を広く知っていただきたいという気持ちで、毎月ここに来るのが生活のリズムになっていました。私が教育長を支える事が出来ていたかどうかは分かりませんが、私にとりましては、この4年間で自分自身の人生の財産になりました。

また、先輩の教育委員や、今、一緒にやっていただいている委員の皆様も、これからも色々な場面でご縁がうまく繋がっていけば有難いと思います。私が教育委員会に何か出来たのかというと、どうだったのかなと思いますが、4年間の定例会議は約50回ありましたが、全て元気に出席する事が出来ました。それだけは、自分としましても良かったと思っています。後任の方は、とても素晴らしい方だと聞いていますので、このような教育委員会の雰囲気や、学校の児童、生徒のために反映できるような、そういった教育委員会でも在り続けるようお願い申し上げます。私は、これから別の立場で教育委員会の応援団のような形になればいいかと思っています。皆様には大変お世話になりましたが、節目という事で、本日は挨拶をさせていただく機会をいただき、感謝申し上げます。本当に4年間ありがとうございました。

教育長（飯野眞幸）

ご挨拶をいただき、ありがとうございました。私の方から職員を代表して御礼の挨拶をさせていただきたいと思います。

今、ご挨拶いただきましたが、もう4年経ってしまったのかなという印象を持っています。新しい教育委員会制度になり、本当にバタバタとした中で教育長職務代理者を引き受けていただきました。この4年間、特に大変だったのが、やはり不祥事の対応だったと思っています。高崎市の教職員が不祥事を起こして、皆様にも随分ご負担をかけてしまい申し訳なく思っています。その時にも、我々を支えていただいた事は、決して忘れられない私の記憶の中に残っています。

竹内教育長職務代理者の一番素晴らしい事は、経歴の中にもありますように、市P連の会長をされていたという事で、常に市P連の視点で見ていただいたと思っています。我々は色々な事業をやっていますが、保護者にどのように受け止められているのだろうか、PTAはどう評価してくれているのだろうかという事が、いちばん気になるのですが、それを率直に伝えてくれたという事は、大変有難いと思っています。30日の校園長会議でもご挨拶をしていただく予定なので、それが最後のお仕事になりますが、校長さん方との距離を縮めてくれたのではないかと思います。そのような意味で、我々からするとバランス感覚を持って、そして、保護者の感覚も持って、子どもたちを良く見ている中で、色々応援していただき大変有難いと思っています。職員を代表しまして、御礼を申し上げます。教育委員はOB会がございますので、そこに入らせていただき、これからも是非、応援を続けていただけたら有難いと思います。本当に4年間、ありがとうございました。

教育長職務代理者（竹内一普）

ありがとうございました。

教育長（飯野眞幸）

以上をもちまして、教育委員会9月定例会を閉会させていただきます。

本日は大変ご苦勞様でした。